

JCNA2008年度テーマ

病む人とともに生きる～仕える喜び

「私は仕えられるためではなく、仕えるためにきた。」マタイ20-28

本年度のテーマは上記の通りです。今年の全国大会「大阪」のテーマからです。
下記のお祈りは、昨年マレーシアの看護協会創立60周年記念行事に出席されたS r. 沢がいただいてこられたお祈りです。本部顧問F r. 川上に日本語の祈りにしていただきました。毎日の始まりのお祈りにいかがでしょうか。

ナースの祈り

主よ、あなたの祝福のうちに今日の一日を始めます
わたしを待つ病む人びとに 看護の奉仕を届けることができますように

病む人の声を聴き取る心と
見えるものの奥を見る力をお与えください
看護の技を磨く知識と
謙虚に看護する態度を 身につけることができますように

先入観を持って患者を見ることなく
ひとりひとりに敬意をこめて
触れることができますように
いかなる恐れや苦しみにも向き合うことができ
思いやりとやさしさを ことばと行いのうちに
宿することができますよう 照らしてください

新たに来るどの日にも 喜びと驚きを
見出すことができますように
主よ わたしのこの両手を通して
あなたの癒しの光が 輝き出ますように

アーメン

第49回日本カトリック看護協会 全国大会 in 鹿児島 の報告

日本カトリック看護協会主催の第49回全国大会が、11月9日（金）～10日（土）、鹿児島純心女子大学（鹿児島県薩摩川内市）で開催されました。今回のテーマは、「寄り添う看護 ～マリアの心で『いのち』のケアを～」でした。全国各支部から約150名が参加し、カトリックとして医療、看護の諸問題にどう取り組むかを研修しました。

初日、開会式に続いて糸永真一名誉司教（前鹿児島教区司教）が、「カトリックナースの使命」と題して講演し、「全人的医療」の意味・目的に触れ、それを全うするには真にカトリック信者として生きることが求められると結びました。鹿児島純心女子短期大学 三島盛武教授は、「あたたかい医療を考える」をテーマに具体的事例を入れながら話されました。

二日目には、会員発表が行われ、先ず「てんかんと聴覚障害を持つ重度障害者への看護援助と社会支援」と題して大村共立病院（長崎県）の山中五代さんらが38年間入院生活を送っていた重度障害者の事例を紹介されました。健康面やその中で特に障害者自身の持つ可能性に焦点を置き、希望を持って関わったところ約半年で社会復帰につながったという報告でした。そのような関わりにより、患者の潜在能力が引き出されると結論づけられました。

二題目は、介護老人保健施設ニューライフガラシア（大阪府）の向井定子さんは「いのちへの思いやりのケア」という発表でした。その中で、特に施設勤務の経験から、ターミナルケアの事例やその中で気づきについてのお話で、特にターミナルケアの充実を図ることはすべてのケアを深めることになると強調されました。

三題目は、山口支部山口郁乃さんは「人生を統合される主を讃えて～精神科看護師の喜び～」と題する発表で、25年間精神科看護に携わった体験から、精神科医療の歴史的変遷の時代を生き、精神科病院及び地域生活支援の仕事を通して得られた内容を発表されました。そしてターミナルを迎えた統合失調症のSHさんの最後の時間に主の恵みが注がれたその関わりの発表は、カトリック医療者として生き生きと看護実践しておられる姿に深い感銘を受けました。

第三講演としてフランコ・ソットコロラ神父様（真命山・諸宗教対話・霊性交流センター長）が「医療者と宗教的対話」をテーマに講演されました。宗教の多様性と諸宗教との対話の中で、どういう宗教の患者さまとも関わりがあるというお話でした。

大会の終りに美しい大学内チャペルで、鹿児島教区司教総代理の小川靖忠神父様と各支部顧問司祭の共同司式による大会ミサが捧げられました。

鹿児島での開催そしてカトリック看護大学を会場にして行われたのは、今回が初めてでした。会場地となった薩摩川内市は、2008年列福される予定の薩摩の殉教者「レオ税所七右衛門」が殉教した地でもあります。また、キリスト教が最初に伝わった鹿児島を知ってもらおうと、大会最後に「ザビエルの足跡をたどって」バスツアーも実施され、改めて日本のキリスト教の源点を実感できた大変有意義な企画でした。

今回の参加者の皆さんは、「大会テーマは看護者の使命の原点と言えるものであり、いつもこの原点に立ち帰る必要を感じました」などの声が寄せられました。

今大会は、鹿児島教区及び大学関係者の協力も大きく、鹿児島女性信徒の会や個人など約20人のボランティアに協力していただいたほか、大島紬の布を使った手作りのブローチや星砂、貝殻などの手作りの小物を、この大会のために祈りながら作って下さり、人数分のおみやげを寄せてくれた方たちもおられ、感謝の気持ちでいっぱいになりました。

第49回日本カトリック看護協会の全国大会のお礼と報告

JCNA 鹿児島支部 支部長 松村 精子

11月9日(金)～10日(土)にわたり日本カトリック看護協会の全国大会が盛会のうちに終了いたしました。この会を持つにあたり鹿児島教区並びに信徒の多くの方々のお力添えをいただきましたことを厚く御礼申し上げます。

大会に出席した会員は薩摩川内の広い大地に広がる鹿児島純心女子大学のキャンパスに驚きと、羨望、夢を抱いてくださいました。この会場を提供下さった大学と修道会に感謝!!「寄り添う看護」～マリアの心で「いのち」のケアを～のテーマのもと、約150名が集いました。

大会の講話についてもカトリック看護者としての大切な「使命」「あたたかい医療」「医療者と宗教的対話」については各自の胸に灯火となった貴重な話しでありました。会員の三人の発表は、精神科看護から二例、老人保健施設での思いやりのケア一例があり、いずれも今の社会に大切な話題であり、カトリック医療者として生き生きと看護実践しておられる姿に深い感銘を受けた内容でありました。現場の苦労と喜びが伝わって、会場からは涙を流しながら聞き入る光景も多々みられ、われわれ会員の健闘ぶりがひたひたと感じられました。

以上のように、大会を無事に終えることが出来ました。JCNA 鹿児島支部からの報告と致します。今後ともよろしくご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

第50回 日本カトリック看護協会 全国大会 (大阪)

テーマ 病む人とともに生きる ～仕える喜び～

期 日 2008年9月26日(金)～27日(土)

場 所 ホテル阪急エキスポパーク (大阪府吹田市千里万博公園)

プログラム

9月26日(金曜日)

12:30～	受付開始
13:00～13:30	オリエンテーション
13:30～14:00	開会式
14:00～15:30	講演 I 人見 滋樹 先生
15:30～16:00	休憩
16:00～17:30	講演 II 沼野 尚美 先生
17:30～18:00	写真撮影
18:00～20:00	親睦会

9月27日(土曜日)

9:00～11:00	会員発表
11:00～12:00	大会ミサ
12:00～12:30	閉会式
12:30～13:30	昼食
13:30	終了

予告

第51回 日本カトリック看護協会 全国大会 (長崎)

期 日 2009年10月23日(金)～24日(土)

■ 2007年度 「本部役員会」 報告

第1回 7月7日(土) 名古屋 神言会ハウス

* 第2回 日本カトリック医療連絡会の件

限られた会議時間でどのような検討事項があるか、絞っていくことが必要と思われ、本会からは特に活動内容について提案することにしました。

* J C N A全国総会、「会場」「開催日」について検討し、次年度も使用することを決定しました。

第2回 10月14日(日) 援助修道会本部修道院 集会室

* 日本カトリック医療連絡会について検討しました。

* 長崎大会(2009年度)について

支部長よりプログラム原案が送られてきており、検討し、確認しました。

* 本部役員会交通費の件

次回よりその都度払いとする。実費請求するフォーマットを用意して使用し、一回遅れで支出する。この支出は4月に遡って摘要することにしました。

* 2010年度以降の全国大会について

全国大会はJ C N Aと会員にとって重要なことなので、毎年開催することの意義をしっかりと会員に伝え、会員の高齢化や減少によって困難を伴うが、支部と本部がより緊密に協力して毎年開催を続けていくことが話し合われました。

第3回 12月9日(日) 援助修道会本部修道院 集会室

* 鹿児島大会について

- ・鹿児島支部の皆さんがよく準備され、鹿児島純心女子大学を始め、教区あげての協力のもとに立派に開催された大会でした。
- ・講師陣も三者三様に充実していました。
- ・会員発表も素晴らしいものでした。
- ・親睦会が延長してもホテルのバスが待って対応してくれたことはありがたかった。
- ・企画された学内のミニツアーであったが、参加者自身の集団行動の自覚が不足だったように思われた。(反省)
- ・鹿児島大会バザーの売り上げ12,400円は本部会計に入金しました。

* 第3回日本カトリック医療連絡会の件

医療協全国大会(2008/07/18~19)の大会プログラム案のシンポジウムについての意見が求められており、これについては、J C N Aの活動を理解してもらうために、このシンポジウムに参加することは有意義と話し合いました。

* J C N A通信 No.6 の内容について

2008年度年間テーマなど掲載する内容を検討しました。

* 2008年度全国総会について

- ・要項を検討し、支部長に送付するにしました。
- ・役員選挙について;会長、本部役員同時選挙の年であり、要項を検討しました。

■日本カトリック医療連絡会 報告

日本カトリック医療連絡会についてご報告いたします

第2回が 2007年7月21日 午後2時35分~4時30分 姫路聖マリア病院会議室(姫路)で、
第3回が 12月9日 午後1時~午後3時 幼きイエス会 ニコラ・バレ・ハウス(東京)で開催され、今まで次のようなことが合意されました。

- 1) カトリック系の医療関連4団体の連絡会を作る。
- 2) 名称は「日本カトリック医療連絡会」とする。
- 3) 構成団体は(日本カトリック)医療施設協会、看護協会、医師会、看護大学とする。
- 4) 連絡会は各構成団体の自主性を尊重しつつ構成団体間の連携強化を図ることを目的とする。
- 5) 連絡会は定期的に開催する。初めは年に2~3回が望ましい。(各団体の大会とは別な時期に。)
- 6) 参加者は各団体より代表者2名以上とする。